変額個人年金保険GF(Ⅲ型)　**異次元発**

2016年度（平成28年度）特別勘定の現況

●投資環境(2016年度)

日本株式市場

日経平均株価は、期初16,758円で始まりました。4～6月は、円高進行による企業業績の悪化懸念から軟調に推移し、6月の英・国民投票でEU離脱派が勝利すると、同株価は一時14,952円まで下落しました。その後は、円高の一服や堅調な海外株式市場を背景に、同株価はやや持ち直しました。11月の米大統領選挙でトランプ氏が勝利すると、積極的な財政政策への期待からグローバルにリスク選好的な姿勢が強まり、外国為替市場で円安ドル高が進行したことにも支えられ、同株価は19,000円台まで上昇しました。1～3月では、同株価は高値圏で概ね横ばい推移となりました。期末の日経平均株価は18,909円でした。

外国株式市場

米国のS&P500は、期初2,059で始まりました。6月の英・国民投票でEU離脱派が勝利すると、同株価は一時2,000まで下落しました。但し、底堅い企業業績に支えられ株価の戻りも早く、7～10月は概ね2,100～2,200のレンジで推移しました。11～3月は、米・大統領選でトランプ氏が勝利し、経済政策への期待が高まったことから、同株価は3月に2,395まで上昇、期末のS&P500は2,362でした。
また、英国のFTSE100は、期初6,174で始まりました。6月までは概ね横ばいで推移しましたが、英・国民投票でEU離脱派が勝利し、ポンド安が進行したことを好感し、株価は上昇しました。11月以降はグローバルにリスク選好的な動きとなったことにも支えられ、株価は3月には7,429まで上昇、期末のFTSE100は7,322でした。

日本債券市場

10年国債利回りは、期初-0.03%で始まりました。4～7月は良好な需給環境に加え、日銀の追加緩和期待から同利回りは7月に-0.29%まで低下しました。同月、日銀は国債買入れ増額やマイナス金利深掘りを見送ったため、8月に同利回りは-0.04%まで上昇しました。9月に日銀が長短金利操作付き量的・質的金融緩和政策を導入し、10年国債利回りをゼロ%程度に誘導する方針を示したため、同利回りは10月まで概ね-0.05%程度で概ね横ばい推移となりました。11月の米・大統領選でトランプ氏が勝利して以降、米長期金利が大幅に上昇したことや、日銀の国債買入れオペを巡る不透明感から、同利回りは2月に0.12%まで上昇しました。但し、日銀は指値オペにより更なる金利上昇を容認しない姿勢を示したため、同利回りは低下に転じ、期末の10年国債利回りは0.07%でした。

外国債券市場

米10年国債利回りは、期初1.77%で始まりました。英・国民投票でのEU離脱派の勝利をうけて、同利回りは7月上旬に1.36%まで低下しました。11月に米・大統領選でトランプ氏が勝利すると、積極的な財政政策への期待が高まり、米国経済の加速や米FRBの利上げペースの早まりが意識され、同利回りは3月に2.63%まで上昇しました。その後は、トランプ大統領の政策への不透明感から同利回りはやや低下し、期末の米10年国債利回りは2.41%でした。
また、ドイツ10年国債利回りは、期初0.15%で始まりました。ECBの金融緩和が長期化するなか、英・国民投票でEU離脱派が勝利すると、同利回りは-0.19%まで低下しました。10～12月は、欧州経済の回復や、米大統領選後のグローバルな金利上昇をうけ、同利回りは12月に0.40%まで上昇しました。1～3月は、仏大統領選を巡る不透明感や、ECBの金融緩和姿勢を巡る思惑から、金利は上下する局面もありましたが、期末のドイツ10年国債利回りは、0.33%でした。

外国為替市場

ドル円相場は、期初1米ドル＝112.50円で始まりました。4月の日銀の追加緩和見送りや6月の英・国民投票でのEU離脱派の勝利をうけ、8月には1米ドル＝100円程度まで円高ドル安が進みました。11月の米・大統領選でトランプ氏が勝利すると、12月には118円程度まで円安ドル高が進みました。但し、1～3月は、トランプ大統領の政策への不透明感からやや円高ドル安傾向となり、期末は1米ドル＝111.89円でした。
また、ユーロ円相場は、期初1ユーロ＝128.04円で始まりました。英・国民投票でEU離脱派が勝利すると、欧州の政治・経済への懸念から7月には111円程度まで円高ユーロ安が進みました。11月以降は、米・大統領選でトランプ氏が勝利したことをうけてリスク選好的な動きとなり、12月には123円程度まで円安ユーロ高が進行しました。1月以降は、欧州政治リスクへの懸念からやや円高・ユーロ安傾向となり、期末は1ユーロ＝119.47円でした。

●運用実績の推移および運用方針

①当期の運用実績の推移　　特別勘定の運用状況をご参照ください。
②当期の運用方針　　当社は、特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を実施しました。
③今後の運用方針　　当社は、今後とも、特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を行う方針です。

当社は2016年度決算(決算日：2017年3月31日)を行いました。当資料は2016年度の運用状況をご報告するものです。
最新の運用状況は当社ホームページにてご確認いただけます。

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	投資対象	運用方針
SAバランス0807A	公社債等	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

＊一定条件に該当したため、現在は当社による公社債等の安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2016年度末)

（単位：百万円）

区分	金額
	SAバランス0807A
現預金・コールローン	22
有価証券	1,103
公社債	1,103
株式	－
外国証券	－
公社債	－
株式等	－
その他の証券	－
貸付金	－
その他	3
貸倒引当金	－
合計	1,129

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2016年度)

（単位：百万円）

区分	金額
	SAバランス0807A
利息配当金等収入	17
有価証券売却益	－
有価証券償還益	－
有価証券評価益	18
為替差益	－
金融派生商品収益	－
その他の収益	－
有価証券売却損	－
有価証券償還損	－
有価証券評価損	38
為替差損	－
金融派生商品費用	－
その他の費用及び損失	－
収支差額	−2

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2016年度)

（単位：千円）

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SAバランス0807A	294 10年利付国債	－	－	－	－
	296 10年利付国債	－	－	－	－

※2016年度の売買実績はありません。

●保有契約高(2016年度末)

（単位：件、百万円）

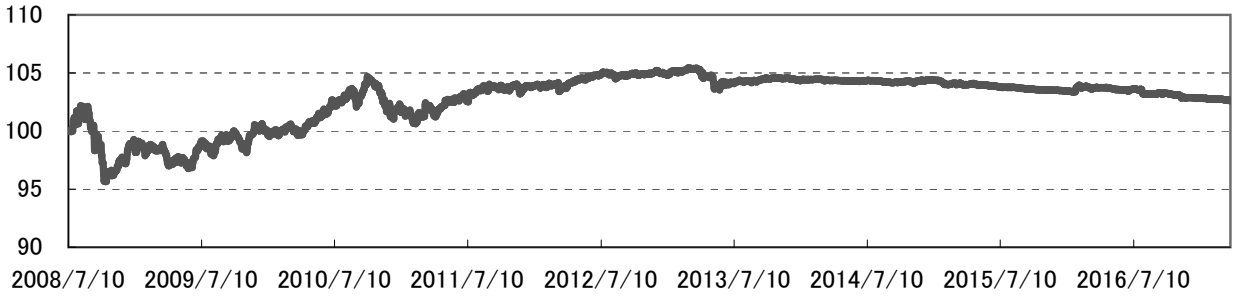
項目	件数	金額
変額個人年金保険GF(Ⅲ型) 異次元発(SAバランス0807A)	215	1,209

※単位未満切捨て

2017年3月末現在

特別勘定「SAバランス0807A」運用状況

■ユニットプライスの推移 （特別勘定設定日：2008年7月10日）



■ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2017年3月末現在 ユニットプライス
−0.12%	−0.22%	−0.64%	−1.11%	2.59%	102.59

■特別勘定　純資産総額の内訳

	金額（百万円）	構成比（%）
公社債等	1,107	98.0%
現預金・その他*	22	2.0%
純資産総額	1,129	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※ユニットプライス（単位価格）とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット（単位）に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

＊経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

■公社債等による運用について

1 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。
＊東京海上日動あんしん生命保険株式会社が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。
2 東京海上日動あんしん生命保険株式会社が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。
3 運用期間満了時まで投資信託（バランスファンド）による運用は行いません。
4 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■公社債等情報 （公社債等による運用に切り替わった日：2008年10月15日）

No	銘柄	利率（%）	償還日	比率（%）
1	第294回利付国債（10年）	1.70	2018年6月20日	68.7%
2	第296回利付国債（10年）	1.50	2018年9月20日	29.4%
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動あんしん生命保険株式会社が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	投資対象	運用方針
SAバランス0807B	公社債等	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

＊一定条件に該当したため、現在は当社による公社債等の安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2016年度末)

（単位：百万円）

区分	金額
	SAバランス0807B
現預金・コールローン	28
有価証券	1,439
公社債	1,439
株式	－
外国証券	－
公社債	－
株式等	－
その他の証券	－
貸付金	－
その他	4
貸倒引当金	－
合計	1,472

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2016年度)

（単位：百万円）

区分	金額
	SAバランス0807B
利息配当金等収入	22
有価証券売却益	0
有価証券償還益	－
有価証券評価益	27
為替差益	－
金融派生商品収益	－
その他の収益	－
有価証券売却損	－
有価証券償還損	－
有価証券評価損	54
為替差損	－
金融派生商品費用	－
その他の費用及び損失	－
収支差額	−3

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2016年度)

（単位：千円）

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SAバランス0807B	294 10年利付国債	－	－	10,000	10,132
	296 10年利付国債	－	－	7,000	6,953

※単位未満切捨て

●保有契約高(2016年度末)

（単位：件、百万円）

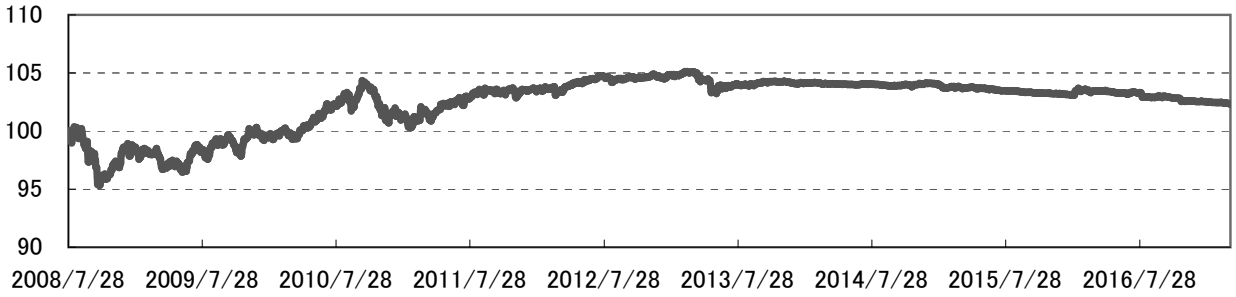
項目	件数	金額
変額個人年金保険GF(Ⅲ型) 異次元発(SAバランス0807B)	260	1,578

※単位未満切捨て

2017年3月末現在

特別勘定「SAバランス0807B」運用状況

■ユニットプライスの推移 （特別勘定設定日：2008年7月28日）



■ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2017年3月末現在 ユニットプライス
−0.12%	−0.21%	−0.64%	−1.12%	2.31%	102.31

■特別勘定　純資産総額の内訳

	金額（百万円）	構成比（%）
公社債等	1,444	98.1%
現預金・その他*	28	1.9%
純資産総額	1,472	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス（単位価格）とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット（単位）に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

＊経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

■公社債等による運用について

1 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。

＊東京海上日動あんしん生命保険株式会社が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。

2 東京海上日動あんしん生命保険株式会社が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。

3 運用期間満了時まで投資信託（バランスファンド）による運用は行いません。

4 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■公社債等情報 （公社債等による運用に切り替わった日：2008年10月15日）

No	銘柄	利率（%）	償還日	比率（%）
1	第294回利付国債（10年）	1.70	2018年6月20日	58.9%
2	第296回利付国債（10年）	1.50	2018年9月20日	39.2%
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動あんしん生命保険株式会社が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	投資対象	運用方針
SAバランス0808A	公社債等	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*一定条件に該当したため、現在は当社による公社債等の安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2016年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	SAバランス0808A
現預金・コールローン	37
有価証券	1,953
公社債	1,953
株式	−
外国証券	−
公社債	−
株式等	−
その他の証券	−
貸付金	−
その他	4
貸倒引当金	−
合計	1,994

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2016年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	SAバランス0808A
利息配当金等収入	30
有価証券売却益	0
有価証券償還益	−
有価証券評価益	46
為替差益	−
金融派生商品収益	−
その他の収益	−
有価証券売却損	−
有価証券償還損	−
有価証券評価損	81
為替差損	−
金融派生商品費用	−
その他の費用及び損失	−
収支差額	−4

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2016年度)

(単位：千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SAバランス0808A	294 10年利付国債	−	−	−	−
	296 10年利付国債	−	−	11,000	10,925

※単位未満切捨て

●保有契約高(2016年度末)

(単位：件、百万円)

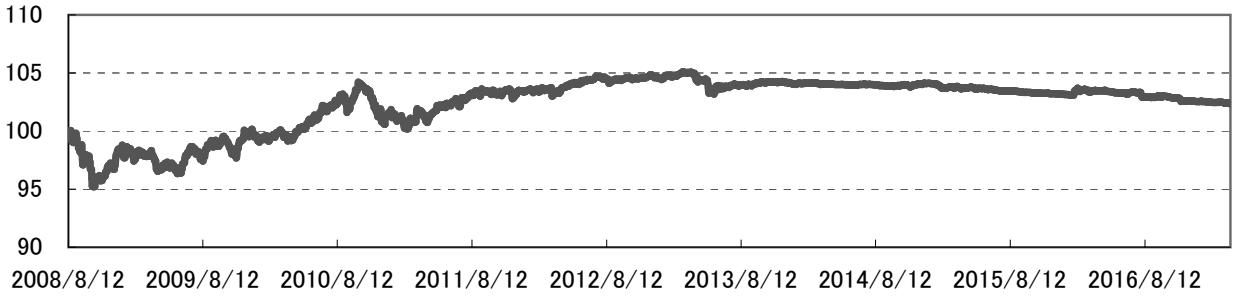
項目	件数	金額
変額個人年金保険GF(Ⅲ型) 異次元発(SAバランス0808A)	286	2,142

※単位未満切捨て

2017年3月末現在

特別勘定「SAバランス0808A」運用状況

■ユニットプライスの推移 （特別勘定設定日：2008年8月12日）



■ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2017年3月末現在 ユニットプライス
−0.12%	−0.20%	−0.64%	−1.12%	2.33%	102.33

■特別勘定　純資産総額の内訳

	金額（百万円）	構成比（%）
公社債等	1,957	98.1%
現預金・その他*	37	1.9%
純資産総額	1,994	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※ユニットプライス（単位価格）とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット（単位）に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

＊経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

■公社債等による運用について

1 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。
＊東京海上日動あんしん生命保険株式会社が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。
2 東京海上日動あんしん生命保険株式会社が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。
3 運用期間満了時まで投資信託（バランスファンド）による運用は行いません。
4 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■公社債等情報 （公社債等による運用に切り替わった日：2008年10月15日）

No	銘柄	利率（%）	償還日	比率（%）
1	第294回利付国債（10年）	1.70	2018年6月20日	38.9%
2	第296回利付国債（10年）	1.50	2018年9月20日	59.2%
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動あんしん生命保険株式会社が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	投資対象	運用方針
SAバランス0808B	公社債等	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*一定条件に該当したため、現在は当社による公社債等の安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2016年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	SAバランス0808B
現預金・コールローン	50
有価証券	2,332
公社債	2,332
株式	−
外国証券	−
公社債	−
株式等	−
その他の証券	−
貸付金	−
その他	2
貸倒引当金	−
合計	2,385

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2016年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	SAバランス0808B
利息配当金等収入	35
有価証券売却益	0
有価証券償還益	−
有価証券評価益	61
為替差益	−
金融派生商品収益	−
その他の収益	−
有価証券売却損	−
有価証券償還損	−
有価証券評価損	102
為替差損	−
金融派生商品費用	−
その他の費用及び損失	−
収支差額	−5

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2016年度)

(単位：千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SAバランス0808B	294 10年利付国債	−	−	1,000	1,013
	296 10年利付国債	−	−	13,000	12,934

※単位未満切捨て

●保有契約高(2016年度末)

(単位：件、百万円)

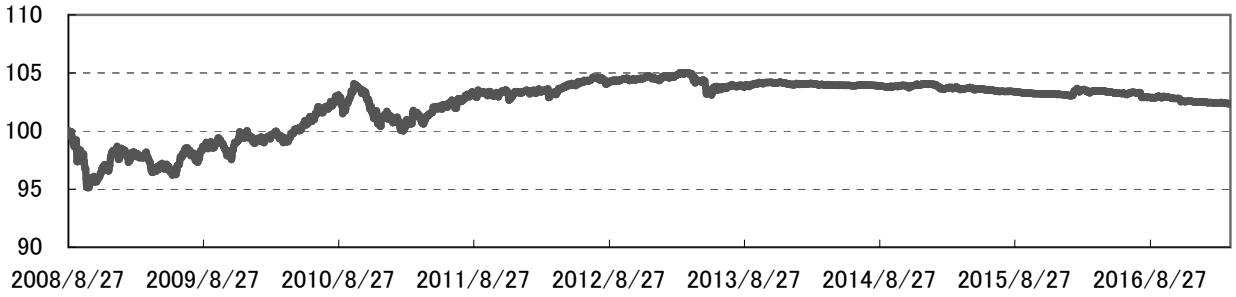
項目	件数	金額
変額個人年金保険GF(Ⅲ型) 異次元発(SAバランス0808B)	407	2,563

※単位未満切捨て

2017年3月末現在

特別勘定「SAバランス0808B」運用状況

■ユニットプライスの推移 （特別勘定設定日：2008年8月27日）



■ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2017年3月末現在 ユニットプライス
−0.12%	−0.19%	−0.65%	−1.13%	2.30%	102.30

■特別勘定　純資産総額の内訳

	金額（百万円）	構成比（%）
公社債等	2,335	97.9%
現預金・その他*	50	2.1%
純資産総額	2,385	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※ユニットプライス（単位価格）とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット（単位）に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

＊経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

■公社債等による運用について

1 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。
＊東京海上日動あんしん生命保険株式会社が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。
2 東京海上日動あんしん生命保険株式会社が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。
3 運用期間満了時まで投資信託（バランスファンド）による運用は行いません。
4 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■公社債等情報 （公社債等による運用に切り替わった日：2008年10月15日）

No	銘柄	利率（%）	償還日	比率（%）
1	第294回利付国債（10年）	1.70	2018年6月20日	19.6%
2	第296回利付国債（10年）	1.50	2018年9月20日	78.3%
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動あんしん生命保険株式会社が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	投資対象	運用方針
SAバランス0809A	公社債等	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

＊一定条件に該当したため、現在は当社による公社債等の安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2016年度末)

（単位：百万円）

区分	金額
	SAバランス0809A
現預金・コールローン	41
有価証券	1,902
公社債	1,902
株式	－
外国証券	－
公社債	－
株式等	－
その他の証券	－
貸付金	－
その他	0
貸倒引当金	－
合計	1,944

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2016年度)

（単位：百万円）

区分	金額
	SAバランス0809A
利息配当金等収入	27
有価証券売却益	0
有価証券償還益	－
有価証券評価益	57
為替差益	－
金融派生商品収益	－
その他の収益	－
有価証券売却損	－
有価証券償還損	－
有価証券評価損	90
為替差損	－
金融派生商品費用	－
その他の費用及び損失	－
収支差額	−4

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2016年度)

（単位：千円）

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SAバランス0809A	296 10年利付国債	－	－	11,000	10,945

※単位未満切捨て

●保有契約高(2016年度末)

（単位：件、百万円）

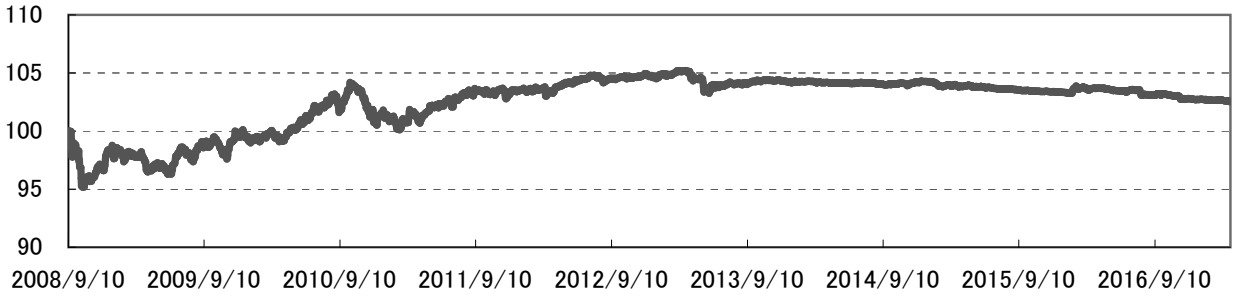
項目	件数	金額
変額個人年金保険GF(Ⅲ型) 異次元発(SAバランス0809A)	303	2,073

※単位未満切捨て

2017年3月末現在

特別勘定「SAバランス0809A」運用状況

■ユニットプライスの推移 （特別勘定設定日：2008年9月10日）



■ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2017年3月末現在 ユニットプライス
−0.13%	−0.18%	−0.65%	−1.14%	2.52%	102.52

■特別勘定　純資産総額の内訳

	金額（百万円）	構成比（%）
公社債等	1,903	97.9%
現預金・その他*	41	2.1%
純資産総額	1,944	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス（単位価格）とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット（単位）に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

＊経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

■公社債等による運用について

1 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。

＊東京海上日動あんしん生命保険株式会社が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。

2 東京海上日動あんしん生命保険株式会社が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。

3 運用期間満了時まで投資信託（バランスファンド）による運用は行いません。

4 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■公社債等情報 （公社債等による運用に切り替わった日：2008年10月15日）

No	銘柄	利率（%）	償還日	比率（%）
1	第296回利付国債（10年）	1.50	2018年9月20日	97.9%
2				
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動あんしん生命保険株式会社が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	投資対象	運用方針
SAバランス0809B	公社債等	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

＊一定条件に該当したため、現在は当社による公社債等の安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2016年度末)

（単位：百万円）

区分	金額
	SAバランス0809B
現預金・コールローン	36
有価証券	1,591
公社債	1,591
株式	－
外国証券	－
公社債	－
株式等	－
その他の証券	－
貸付金	－
その他	0
貸倒引当金	－
合計	1,628

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2016年度)

（単位：百万円）

区分	金額
	SAバランス0809B
利息配当金等収入	23
有価証券売却益	－
有価証券償還益	－
有価証券評価益	48
為替差益	－
金融派生商品収益	－
その他の収益	－
有価証券売却損	－
有価証券償還損	－
有価証券評価損	75
為替差損	－
金融派生商品費用	－
その他の費用及び損失	－
収支差額	−4

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2016年度)

（単位：千円）

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SAバランス0809B	296 10年利付国債	－	－	－	－

※2016年度の売買実績はありません。

●保有契約高(2016年度末)

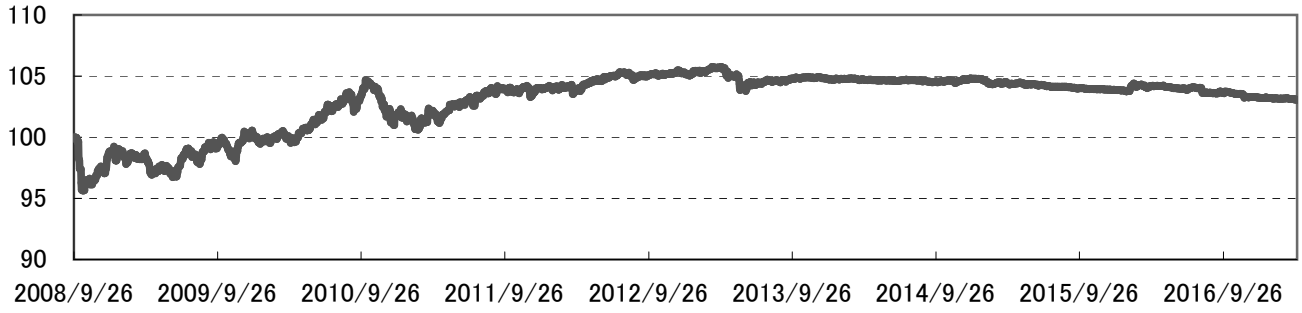
（単位：件、百万円）

項目	件数	金額
変額個人年金保険GF(Ⅲ型) 異次元発(SAバランス0809B)	265	1,737

※単位未満切捨て

特別勘定「SAバランス0809B」運用状況

■ユニットプライスの推移 （特別勘定設定日：2008年9月26日）



■ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2017年3月末現在 ユニットプライス
−0.13%	−0.18%	−0.65%	−1.13%	3.03%	103.03

■特別勘定　純資産総額の内訳

	金額（百万円）	構成比（%）
公社債等	1,592	97.8%
現預金・その他*	36	2.2%
純資産総額	1,628	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス（単位価格）とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット（単位）に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

＊経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

■公社債等による運用について

1 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。

＊東京海上日動あんしん生命保険株式会社が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。

2 東京海上日動あんしん生命保険株式会社が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。

3 運用期間満了時まで投資信託（バランスファンド）による運用は行いません。

4 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■公社債等情報 （公社債等による運用に切り替わった日：2008年10月15日）

No	銘柄	利率（%）	償還日	比率（%）
1	第296回利付国債（10年）	1.50	2018年9月20日	97.8%
2				
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動あんしん生命保険株式会社が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	投資対象	運用方針
SAバランス0810A	公社債等	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

＊一定条件に該当したため、現在は当社による公社債等の安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2016年度末)

（単位：百万円）

区分	金額
	SAバランス0810A
現預金・コールローン	17
有価証券	1,155
公社債	1,155
株式	－
外国証券	－
公社債	－
株式等	－
その他の証券	－
貸付金	－
その他	1
貸倒引当金	－
合計	1,175

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2016年度)

（単位：百万円）

区分	金額
	SAバランス0810A
利息配当金等収入	16
有価証券売却益	0
有価証券償還益	－
有価証券評価益	12
為替差益	－
金融派生商品収益	－
その他の収益	－
有価証券売却損	－
有価証券償還損	－
有価証券評価損	32
為替差損	－
金融派生商品費用	－
その他の費用及び損失	－
収支差額	−3

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2016年度)

（単位：千円）

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SAバランス0810A	296 10年利付国債	－	－	28,000	28,574
	298 10年利付国債	－	－	－	－

※単位未満切捨て

●保有契約高(2016年度末)

（単位：件、百万円）

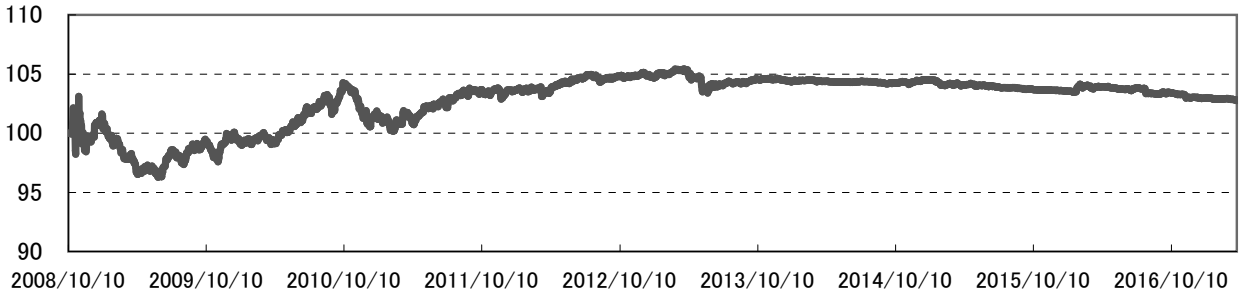
項目	件数	金額
変額個人年金保険GF(Ⅲ型) 異次元発(SAバランス0810A)	175	1,243

※単位未満切捨て

2017年3月末現在

特別勘定「SAバランス0810A」運用状況

■ユニットプライスの推移 （特別勘定設定日：2008年10月10日）



■ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2017年3月末現在 ユニットプライス
−0.13%	−0.18%	−0.65%	−1.14%	2.76%	102.76

■特別勘定　純資産総額の内訳

	金額（百万円）	構成比（%）
公社債等	1,157	98.5%
現預金・その他*	17	1.5%
純資産総額	1,175	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※ユニットプライス（単位価格）とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット（単位）に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

＊経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

■公社債等による運用について

1 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。
＊東京海上日動あんしん生命保険株式会社が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。
2 東京海上日動あんしん生命保険株式会社が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。
3 運用期間満了時まで投資信託（バランスファンド）による運用は行いません。
4 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■公社債等情報 （公社債等による運用に切り替わった日：2009年3月5日）

No	銘柄	利率（%）	償還日	比率（%）
1	第296回利付国債（10年）	1.50	2018年9月20日	68.1%
2	第298回利付国債（10年）	1.30	2018年12月20日	30.4%
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動あんしん生命保険株式会社が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	投資対象	運用方針
SAバランス0810B	公社債等	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

＊一定条件に該当したため、現在は当社による公社債等の安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2016年度末)

（単位：百万円）

区分	金額
	SAバランス0810B
現預金・コールローン	9
有価証券	395
公社債	395
株式	－
外国証券	－
公社債	－
株式等	－
その他の証券	－
貸付金	－
その他	0
貸倒引当金	－
合計	405

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2016年度)

（単位：百万円）

区分	金額
	SAバランス0810B
利息配当金等収入	5
有価証券売却益	0
有価証券償還益	－
有価証券評価益	4
為替差益	－
金融派生商品収益	－
その他の収益	－
有価証券売却損	－
有価証券償還損	－
有価証券評価損	11
為替差損	－
金融派生商品費用	－
その他の費用及び損失	－
収支差額	−1

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2016年度)

（単位：千円）

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SAバランス0810B	296 10年利付国債	－	－	11,000	11,234
	298 10年利付国債	－	－	8,000	8,017

※単位未満切捨て

●保有契約高(2016年度末)

（単位：件、百万円）

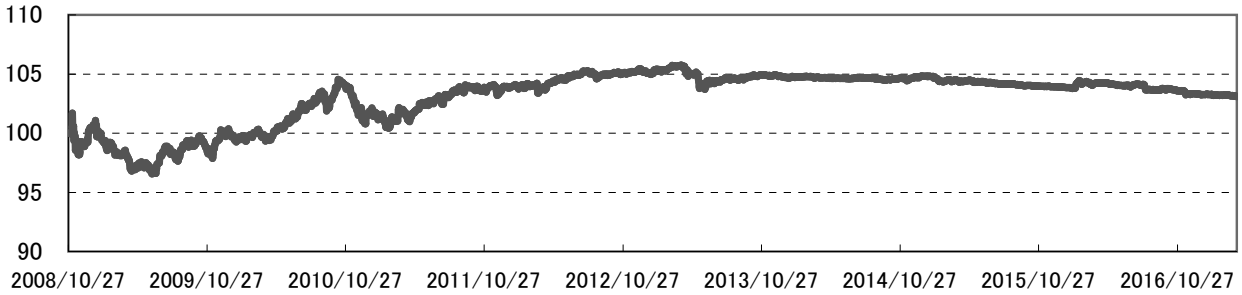
項目	件数	金額
変額個人年金保険GF(Ⅲ型) 異次元発(SAバランス0810B)	78	432

※単位未満切捨て

2017年3月末現在

特別勘定「SAバランス0810B」運用状況

■ユニットプライスの推移 （特別勘定設定日：2008年10月27日）



■ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2017年3月末現在 ユニットプライス
−0.13%	−0.18%	−0.66%	−1.13%	3.07%	103.07

■特別勘定　純資産総額の内訳

	金額（百万円）	構成比（%）
公社債等	395	97.7%
現預金・その他*	9	2.3%
純資産総額	405	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※ユニットプライス（単位価格）とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット（単位）に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

＊経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

■公社債等による運用について

1 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。
＊東京海上日動あんしん生命保険株式会社が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。
2 東京海上日動あんしん生命保険株式会社が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。
3 運用期間満了時まで投資信託（バランスファンド）による運用は行いません。
4 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■公社債等情報 （公社債等による運用に切り替わった日：2009年2月27日）

No	銘柄	利率（%）	償還日	比率（%）
1	第296回利付国債（10年）	1.50	2018年9月20日	58.5%
2	第298回利付国債（10年）	1.30	2018年12月20日	39.2%
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動あんしん生命保険株式会社が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	投資対象	運用方針
SAバランス0811A	公社債等	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

＊一定条件に該当したため、現在は当社による公社債等の安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2016年度末)

（単位：百万円）

区分	金額
	SAバランス0811A
現預金・コールローン	11
有価証券	339
公社債	339
株式	－
外国証券	－
公社債	－
株式等	－
その他の証券	－
貸付金	－
その他	0
貸倒引当金	－
合計	352

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2016年度)

（単位：百万円）

区分	金額
	SAバランス0811A
利息配当金等収入	4
有価証券売却益	－
有価証券償還益	－
有価証券評価益	5
為替差益	－
金融派生商品収益	－
その他の収益	－
有価証券売却損	－
有価証券償還損	－
有価証券評価損	11
為替差損	－
金融派生商品費用	－
その他の費用及び損失	－
収支差額	0

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2016年度)

（単位：千円）

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SAバランス0811A	296 10年利付国債	－	－	－	－
	298 10年利付国債	－	－	－	－

※2016年度の売買実績はありません。

●保有契約高(2016年度末)

（単位：件、百万円）

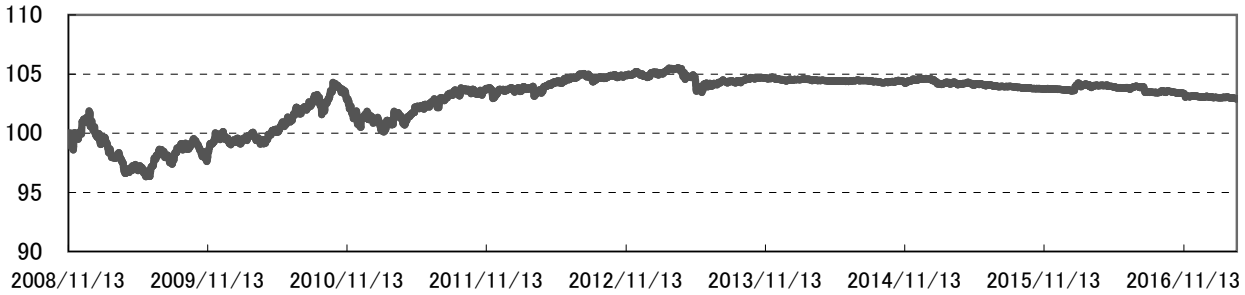
項目	件数	金額
変額個人年金保険GF(Ⅲ型) 異次元発(SAバランス0811A)	72	376

※単位未満切捨て

2017年3月末現在

特別勘定「SAバランス0811A」運用状況

■ユニットプライスの推移 （特別勘定設定日：2008年11月13日）



■ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2017年3月末現在 ユニットプライス
−0.14%	−0.19%	−0.66%	−1.14%	2.87%	102.87

■特別勘定　純資産総額の内訳

	金額（百万円）	構成比（%）
公社債等	340	96.6%
現預金・その他*	11	3.4%
純資産総額	352	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※ユニットプライス（単位価格）とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット（単位）に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

＊経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

■公社債等による運用について

1 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。
＊東京海上日動あんしん生命保険株式会社が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。
2 東京海上日動あんしん生命保険株式会社が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。
3 運用期間満了時まで投資信託（バランスファンド）による運用は行いません。
4 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■公社債等情報 （公社債等による運用に切り替わった日：2009年3月5日）

No	銘柄	利率（%）	償還日	比率（%）
1	第296回利付国債（10年）	1.50	2018年9月20日	38.4%
2	第298回利付国債（10年）	1.30	2018年12月20日	58.2%
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動あんしん生命保険株式会社が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	投資対象	運用方針
SAバランス0811B	公社債等	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

＊一定条件に該当したため、現在は当社による公社債等の安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2016年度末)

（単位：百万円）

区分	金額
	SAバランス0811B
現預金・コールローン	12
有価証券	276
公社債	276
株式	－
外国証券	－
公社債	－
株式等	－
その他の証券	－
貸付金	－
その他	0
貸倒引当金	－
合計	289

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2016年度)

（単位：百万円）

区分	金額
	SAバランス0811B
利息配当金等収入	3
有価証券売却益	－
有価証券償還益	－
有価証券評価益	5
為替差益	－
金融派生商品収益	－
その他の収益	－
有価証券売却損	－
有価証券償還損	－
有価証券評価損	9
為替差損	－
金融派生商品費用	－
その他の費用及び損失	－
収支差額	0

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2016年度)

（単位：千円）

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SAバランス0811B	296 10年利付国債	－	－	－	－
	298 10年利付国債	－	－	－	－

※2016年度の売買実績はありません。

●保有契約高(2016年度末)

（単位：件、百万円）

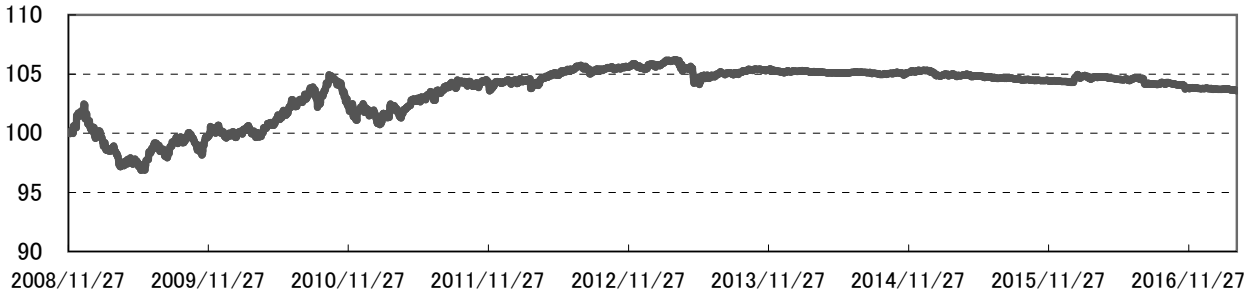
項目	件数	金額
変額個人年金保険GF(Ⅲ型) 異次元発(SAバランス0811B)	59	307

※単位未満切捨て

2017年3月末現在

特別勘定「SAバランス0811B」運用状況

■ユニットプライスの推移 （特別勘定設定日：2008年11月27日）



■ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2017年3月末現在 ユニットプライス
−0.14%	−0.19%	−0.66%	−1.14%	3.56%	103.56

■特別勘定　純資産総額の内訳

	金額（百万円）	構成比（%）
公社債等	276	95.6%
現預金・その他*	12	4.4%
純資産総額	289	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※ユニットプライス（単位価格）とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット（単位）に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

＊経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

■公社債等による運用について

1 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。
＊東京海上日動あんしん生命保険株式会社が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。
2 東京海上日動あんしん生命保険株式会社が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。
3 運用期間満了時まで投資信託（バランスファンド）による運用は行いません。
4 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■公社債等情報 （公社債等による運用に切り替わった日：2009年3月9日）

No	銘柄	利率（%）	償還日	比率（%）
1	第296回利付国債（10年）	1.50	2018年9月20日	18.8%
2	第298回利付国債（10年）	1.30	2018年12月20日	76.8%
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動あんしん生命保険株式会社が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	投資対象	運用方針
SAバランス0812A	公社債等	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

＊一定条件に該当したため、現在は当社による公社債等の安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2016年度末)

（単位：百万円）

区分	金額
	SAバランス0812A
現預金・コールローン	12
有価証券	271
公社債	271
株式	－
外国証券	－
公社債	－
株式等	－
その他の証券	－
貸付金	－
その他	0
貸倒引当金	－
合計	283

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2016年度)

（単位：百万円）

区分	金額
	SAバランス0812A
利息配当金等収入	3
有価証券売却益	－
有価証券償還益	－
有価証券評価益	6
為替差益	－
金融派生商品収益	－
その他の収益	－
有価証券売却損	－
有価証券償還損	－
有価証券評価損	10
為替差損	－
金融派生商品費用	－
その他の費用及び損失	－
収支差額	0

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2016年度)

（単位：千円）

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SAバランス0812A	298 10年利付国債	－	－	－	－

※2016年度の売買実績はありません。

●保有契約高(2016年度末)

（単位：件、百万円）

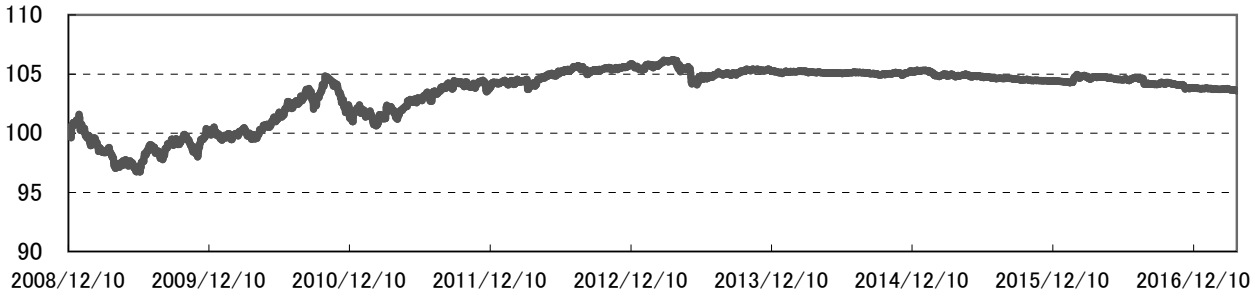
項目	件数	金額
変額個人年金保険GF(Ⅲ型) 異次元発(SAバランス0812A)	52	301

※単位未満切捨て

2017年3月末現在

特別勘定「SAバランス0812A」運用状況

■ユニットプライスの推移 （特別勘定設定日：2008年12月10日）



■ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2017年3月末現在 ユニットプライス
−0.15%	−0.19%	−0.67%	−1.14%	3.56%	103.56

■特別勘定　純資産総額の内訳

	金額（百万円）	構成比（%）
公社債等	271	95.8%
現預金・その他*	12	4.2%
純資産総額	283	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※ユニットプライス（単位価格）とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット（単位）に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

＊経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

■公社債等による運用について

1 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。
＊東京海上日動あんしん生命保険株式会社が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。
2 東京海上日動あんしん生命保険株式会社が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。
3 運用期間満了時まで投資信託（バランスファンド）による運用は行いません。
4 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■公社債等情報 （公社債等による運用に切り替わった日：2009年3月3日）

No	銘柄	利率（%）	償還日	比率（%）
1	第298回利付国債（10年）	1.30	2018年12月20日	95.8%
2				
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動あんしん生命保険株式会社が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	投資対象	運用方針
SAバランス0812B	公社債等	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

＊一定条件に該当したため、現在は当社による公社債等の安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2016年度末)

（単位：百万円）

区分	金額
	SAバランス0812B
現預金・コールローン	7
有価証券	145
公社債	145
株式	－
外国証券	－
公社債	－
株式等	－
その他の証券	－
貸付金	－
その他	0
貸倒引当金	－
合計	153

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2016年度)

（単位：百万円）

区分	金額
	SAバランス0812B
利息配当金等収入	1
有価証券売却益	－
有価証券償還益	－
有価証券評価益	2
為替差益	－
金融派生商品収益	－
その他の収益	－
有価証券売却損	－
有価証券償還損	－
有価証券評価損	5
為替差損	－
金融派生商品費用	－
その他の費用及び損失	－
収支差額	0

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2016年度)

（単位：千円）

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SAバランス0812B	298 10年利付国債	－	－	－	－

※2016年度の売買実績はありません。

●保有契約高(2016年度末)

（単位：件、百万円）

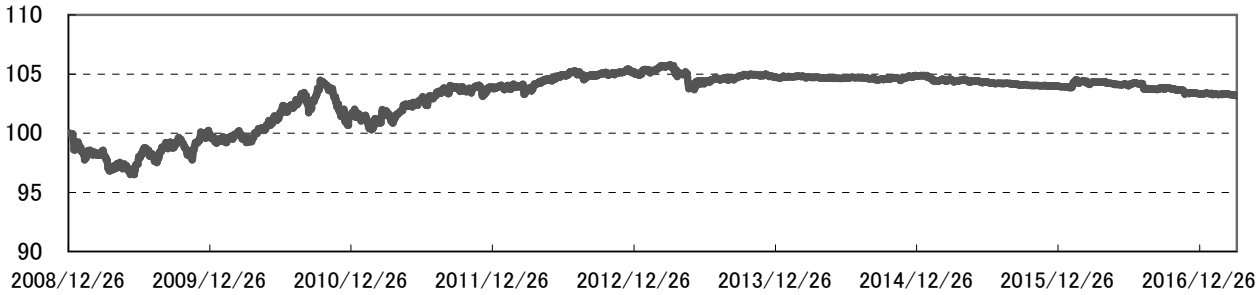
項目	件数	金額
変額個人年金保険GF(Ⅲ型) 異次元発(SAバランス0812B)	24	163

※単位未満切捨て

2017年3月末現在

特別勘定「SAバランス0812B」運用状況

■ユニットプライスの推移 （特別勘定設定日：2008年12月26日）



■ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2017年3月末現在 ユニットプライス
−0.14%	−0.19%	−0.67%	−1.14%	3.14%	103.14

■特別勘定　純資産総額の内訳

	金額（百万円）	構成比（%）
公社債等	146	95.4%
現預金・その他*	7	4.6%
純資産総額	153	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※ユニットプライス（単位価格）とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット（単位）に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

＊経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

■公社債等による運用について

1 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。
＊東京海上日動あんしん生命保険株式会社が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。
2 東京海上日動あんしん生命保険株式会社が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。
3 運用期間満了時まで投資信託（バランスファンド）による運用は行いません。
4 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■公社債等情報 （公社債等による運用に切り替わった日：2009年1月23日）

No	銘柄	利率（%）	償還日	比率（%）
1	第298回利付国債（10年）	1.30	2018年12月20日	95.4%
2				
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動あんしん生命保険株式会社が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	投資対象	運用方針
SAバランス0901A	公社債等	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

＊一定条件に該当したため、現在は当社による公社債等の安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2016年度末)

（単位：百万円）

区分	金額
	SAバランス0901A
現預金・コールローン	4
有価証券	72
公社債	72
株式	－
外国証券	－
公社債	－
株式等	－
その他の証券	－
貸付金	－
その他	0
貸倒引当金	－
合計	77

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2016年度)

（単位：百万円）

区分	金額
	SAバランス0901A
利息配当金等収入	0
有価証券売却益	－
有価証券償還益	－
有価証券評価益	1
為替差益	－
金融派生商品収益	－
その他の収益	－
有価証券売却損	－
有価証券償還損	－
有価証券評価損	2
為替差損	－
金融派生商品費用	－
その他の費用及び損失	－
収支差額	0

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2016年度)

（単位：千円）

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SAバランス0901A	298 10年利付国債	－	－	－	－

※2016年度の売買実績はありません。

●保有契約高(2016年度末)

（単位：件、百万円）

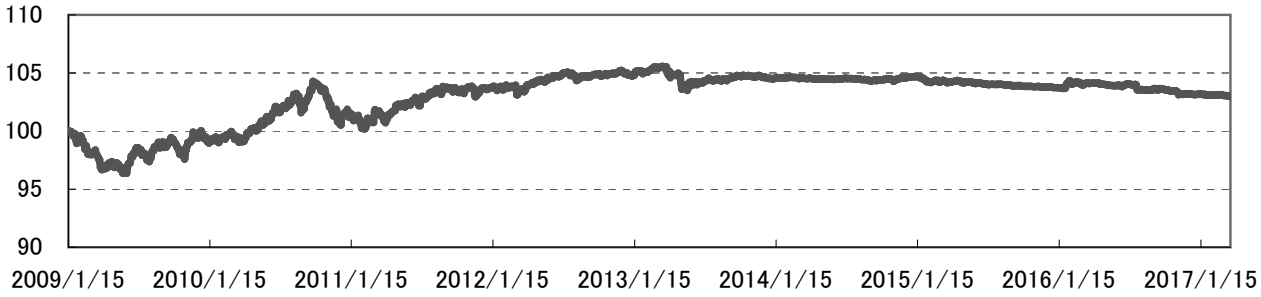
項目	件数	金額
変額個人年金保険GF(Ⅲ型) 異次元発(SAバランス0901A)	16	82

※単位未満切捨て

2017年3月末現在

特別勘定「SAバランス0901A」運用状況

■ユニットプライスの推移 （特別勘定設定日：2009年1月15日）



■ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2017年3月末現在 ユニットプライス
−0.14%	−0.19%	−0.66%	−1.14%	2.95%	102.95

■特別勘定　純資産総額の内訳

	金額（百万円）	構成比（%）
公社債等	73	94.7%
現預金・その他*	4	5.3%
純資産総額	77	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※ユニットプライス（単位価格）とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット（単位）に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

＊経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

■公社債等による運用について

1 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。
＊東京海上日動あんしん生命保険株式会社が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。
2 東京海上日動あんしん生命保険株式会社が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。
3 運用期間満了時まで投資信託（バランスファンド）による運用は行いません。
4 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■公社債等情報 （公社債等による運用に切り替わった日：2009年3月5日）

No	銘柄	利率（%）	償還日	比率（%）
1	第298回利付国債（10年）	1.30	2018年12月20日	94.7%
2				
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動あんしん生命保険株式会社が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

ご負担いただく費用について

この商品にかかる費用の合計額は、下記「保険関係費用」および「資産運用関係費用」の合計額となります。また、契約日から1年未満の解約もしくは一部引出には別途「解約控除」がかかります。

■運用期間中の費用

項目	費用の概要と適用方法	費用	
		投資信託による運用	公社債等による運用
保険関係費用 （保険契約管理費）	この保険の維持管理等に必要な費用で、死亡保険金額および年金原資を最低保証するための費用などを含みます。特別勘定の純資産総額に対して、[右記の年率／365（日）]を乗じた金額を毎日控除します。	特別勘定の純資産総額に対して **年率2.08%**＊2	特別勘定の 純資産総額に対して **年率0.90%**
資産運用関係費用 （資産運用管理費）＊1	保険関係費用以外で、特別勘定の運用にかかる費用です。特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して、[右記の年率／365（日）]を乗じた金額を毎日控除します。	特別勘定の投資対象となる 投資信託の純資産総額に対して **年率0.90%程度**＊3	資産運用関係費用は かかりません。

＊1　資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

＊2　債券ファンドのみで運用を開始した場合は、年率0.90%となります。

＊3　債券ファンドのみで運用を開始した場合は、信託報酬はかかりません。

■解約もしくは一部引出した場合の費用

項目	費用の概要と適用方法	費用
解約控除	契約日から1年未満＊4で解約もしくは一部引出した場合、解約控除対象額＊5から控除されます。	解約控除対象額に対して **0.20%**

＊4　1年未満とは、契約日から1年後の年単位の契約応当日の前日までの期間をさします。

＊5　解約控除対象額とは、解約の場合は解約日の積立金額、一部引出の場合は一部引出額をさします。

■年金受取期間中の費用（主契約および年金支払特約）　※将来、以下の内容が変更になることがあります。

項目	費用の概要と適用方法	費用
保険関係費用 （年金管理費）	この保険の維持管理等に必要な費用です。 年金支払開始日以降、支払年金額に対して右記の率を乗じた金額を、年1回の年金受取日に責任準備金から控除します。	支払年金額に対して **1.0%**

投資リスクについて

この商品は、将来受け取る年金額、解約払戻金額、死亡保険金額等が特別勘定の運用実績に基づいて増減するしくみの生命保険（年金保険）です。特別勘定は主に国内外の株式・債券等の値動きに連動する投資信託に投資されますので、この商品には価格変動リスク・為替変動リスク・信用リスク・金利変動リスク等の投資リスクがあります。そのため、株価や債券価格の下落・為替の変動等により、解約払戻金等のお受け取りになる金額の合計額が、一時払保険料の額を下回り、損失が生じる可能性があります。

ご注意いただきたい事項

■「投資型年金保険 異次元発（変額個人年金保険GF（Ⅲ型））」は東京海上日動あんしん生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険です。このため、預金とは異なり、元本保証はありません。また、預金保険制度の対象ではありません。

■「投資型年金保険 異次元発（変額個人年金保険GF（Ⅲ型））」は運用期間満了時点で積立金額が基本保険金額を下回った場合でも、年金原資には最低保証があります。ただし、年金原資が最低保証されるためには、運用期間（契約日から10年間）満了まで運用いただくことが必要です。

商品の内容に関しては「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」等をご覧ください。

【募集代理店】

【引受保険会社】

東京海上日動あんしん生命保険株式会社
ホームページ http://www.tmn-anshin.co.jp

ご契約内容・各種手続きに関するお問合せ
0120-155-730
受付時間　月～金／9:00～17:00
（祝日および12月31日～1月3日は休業とさせていただきます。）